

社団法人 日本経営士会 千葉県会 会報

**EMC 千葉**

**Ever  
Management  
Consultant  
Chiba**

発行 (社)日本経営士会 千葉県会 <http://keieishi-chiba.org/>

県会長 原 弘行 〒271-0044 八街市八街ほ234-1  
TEL 043-444-0622 FAX 043-444-6674

編集 事務局 副会長 若月英司 (会報担当) 鈴木伸一

平成17年12月2日発行

第70・71号

去る10月29日、30日の両日に2005年北関東フォーラムが千葉県会の主催により執り行われました。昨年の50周年関連行事に引き続きイベントが続いていますが、関係各位のご協力の下、成功裏に開催できたことを改めて御礼申し上げます。詳しいご報告は紙面をご覧ください。

## あいさつ

年の瀬も迫り、会員の皆様にはご多忙の毎日をお過ごしのことと拝察致します。会報の発行が大変送れまして申し訳ありませんでした。8月に第70号を発行する予定でありましたところ、広報担当が多忙となり、適切な後任が見つからないまま編集が延び延びになってしまいました。その間、原稿も増え、次号発行予定の時期も迫ってまいりましたので、今回は、第70号、第71号を併せて発行させていただくことにしました。

12月は何かと行事の多い月ではありますが、12月17日は月例研修会の後、今年の締め括りの懇親会をご案内の通り予定していますので、皆様多数ご参加下さいますようお願いいたします。

(編集事務局副会長若月英司)

## 12月度 研修会ご案内

日時 平成17年12月17日(土) 13:00~16:30

場所 (株)パソナ千葉支社会議室 (そごう隣接のセンシティビル11F)

JR千葉駅下車徒歩2分・京成千葉駅下車徒歩1分 Tel 043-238-9858

テーマ パソナ フォーチュンクラブの説明 13:00~14:00

「性格診断」 14:10~16:30

講師 原 弘行 会員

会場が変更  
になっています。

研修会に引き続き、懇親会が行われます。ぜひご参加ください。

## 第 50 回 総会のご報告

日 時 平成17年5月21日(土)

総 会：14：00～15：00

講演会：15：10～16：40

懇親会：16：50～18：50(参加費 5,000 円)

場 所 プラザ菜の花

出席者：池木尊志、石塚康生、石渡善紹、宇賀田登茂男、榎田國男、大塚末五郎、金子 昭、河井成夫、小島和久、小塚彦明、小藤 純、佐藤昭保、佐藤光生、渋谷勲、鈴木伸一、鈴木弘道、関彦次郎、染谷文夫、鶴岡義明、中嶋清介、中村敏明、西村豊、林 堯夫、林 久雄、原弘行、藤江隆平、藤田佳恵、前島英太郎、松永清美、横山貞夫、吉谷健二、若月英司

議事:

千葉県会原会長、北関東支部金子支部長の挨拶に続き、議長選出。議長より書記、議事録署名人を指名後、次の議案につき審議、承認された。

1. 平成 16 年度事業報告
2. 平成 16 年度収支報告並びに監査報告
3. 平成 17 年度事業計画
4. 平成 17 年度収支予算

その他付議事項、報告事項特になし。

定時総会終了後、千葉県商工労働部経営支援課 副主幹 江澤義博氏より「千葉県における経営支援の現状」と題して特別講演が行われた。

また、特別講演会終了後懇親会が開催され、和やかに懇談の後 18:10 終了した。

## 第 50 回 定時総会特別講演

日 時 平成 17 年 5 月 21 日 (土) 15:10 ~ 16:40

場 所 プラザ菜の花

講 師 千葉県商工労働部経営支援課

江澤 義博 様

定時総会終了後、千葉県商工労働部経営支援課の江澤義博様から「千葉県における経営支援の現状」と題して講演していただきました。

江澤義博様は行政の面から、中小企業の新商品の開発や生産、新サービスの提供、新たな生産又は販売方式の導入等、千葉県内中小企業の「経営革新」に対する挑戦を支援しています。今回の講演では、本年 4 月に中小企業を支援する 3 法（中小創造法、新事業創出促進法、経営革新支援法）が統合・一本化された中小企業新事業活動促進法のガイドブック、同法に基づく経営革新計画の承認を受けた者に対する支援策、経営革新への千葉県の取組支援データ等沢山の資料が示され、要点について説明されました。

示されたデータでは、旧「中小企業経営革新支援法」に基づく経営革新計画の承認事業が始まった平成 11 年 12 月から平成 17 年 3 月末までに千葉県では 348 件の計画が承認されているが、本県の産業規模に比較して承認件数が少なく、今後の奮起が強く望まれるとの説明がありました（計画承認件数の都道府県別の順位トップは東京都の 2,556 件で千葉県は 13 位）。この承認を受けると、事業に要する経費の一部を補助する制度を活用することができ、また、設備や運転資金の融資にあたり県制度資金や政府系金融機関の低利資金が利用できるようになります。

今まで承認された 348 件の計画の内訳についてもデータに基づいて詳細に説明され、必ずしも規模の大きい企業の計画が多く承認されているわけではなく（従業員規模 10 ~ 29 人規模が最も多く 117 件）また、業種別では製造業が現在のところ最も多い（143 件）ものの建設業、サービス業、卸売業、小売業、運輸・通信業等広い分野に亘って「革新計画」が承認されるようになってきているので、クライアントで新商品の開発や生産、新サービスの提供、新たな生産又は販売方式の導入等の計画がある場合には、初期の段階で相談に来て欲しい旨要請がありました。

中小企業における革新計画の作成にはコンサルタントが支援しているケースもあり、我々としても地域の発展に貢献するために、クライアントがこの制度を活用できるように支援していきたいものと思います。

## 2005 年北関東フォーラム終了のご報告

(社)日本経営士会 北関東支部

支部長 金子 昭

千葉県会会長 原 弘行

'05 北関東フォーラムは千葉県会の担当で以下の予定通り終了しましたこと、ご報告いたします。

日 時：2005 年 10 月 29 日（土）～30 日（日）

会 場：成田菊水ホテル 成田市東町 168-1 電話 0476-23-2300 懇親会 川豊別館

参加人員：41 名

埼玉県会 6 名、群馬県会 3 名、栃木県会 7 名、茨城県会 3 名、長野県会 3 名、新潟県会 3 名、千葉県会 15 名、その他（東京）1 名

### 第 1 日目 10 月 29 日（土）

1. 空港視察 旧管制塔ビル 貨物ターミナル 滑走路 等
2. 懇親会

### 第 2 日目 10 月 30 日（日）

1. 支部長挨拶
2. 各県会報告（上半期実績、下半期計画）
3. 2006 年の公開講演会日程変更について

2006 年 2 月 10 日ウイズユーさいたま 視聴覚室（11 月 9 日以降に正式に案内する予定）

4. 2006 年 3 月 4 日（土）～5 日（日）の M P P 研修の案内（茨城県会担当、花王霞ヶ浦研修所）
5. 成田山新勝寺において「法話を聞く」（その後、精進料理で昼食後、解散）



# 会議・研究会開催報告

## 役員会

### 第1回役員会

平成 17 年 4 月 23 日(土) 10:30 ~ 12:00

場 所 船橋市中央公民館

参加者 原 弘行、若月英司、河井成夫、佐藤昭保、横山貞夫、西村豊、小塚彦明、中嶋清介

県会の広報活動強化について

平成 17 年度事業計画について

平成 17 年度収支予算について

### 第2回役員会

平成 17 年 5 月 7 日(土) 13:30 ~ 16:30

場 所 船橋市中央公民館

参加者 原弘行、若月英司、河井成夫、佐藤昭保、鈴木伸一、鶴岡義明、西村豊、小塚彦明、小島和久、  
中嶋清介

会長報告事項

平成 17 年度研修・研究会計画について

第 50 回定時総会開催への準備事項について

### 第3回役員会

平成 17 年 6 月 26 日(土) 12:30 ~ 14:00

場 所 船橋市中央公民館

参加者 原弘行、若月英司、河井成夫、佐藤昭保、鶴岡義明、西村豊、保科秀雄、小塚彦明、中嶋清介

会長報告事項

平成 17 年度北関東フォーラム実施計画について

県会の広報活動強化について

経営士会への入会者推薦について

県会内での法人組織編成推進について

研究会の新設について

### 第4回役員会

平成 17 年 7 月 17 日(日) 13:00 ~ 17:00

場 所 習志野市大久保公民館

参加者 原弘行、若月英司、河井成夫、佐藤昭保、鶴岡義明、林久雄、藤江隆平、吉谷健二、小塚彦明、  
小島和久、中嶋清介

千葉県福祉サービス第三者評価システム構築への県会としての対応について

北関東フォーラムの開催内容について

法人化について

第 39 回経営士国際研究会議の当県会からの参加者

千葉県会のホームページについて

エコアクション 21 及び LLP の紹介  
北関東支部委員会の開催について

## 第 5 回役員会

平成 17 年 7 月 23 日(土) 12:30 ~ 13:30

場 所 船橋市中央公民館

参加者 原弘行、若月英司、河井成夫、佐藤昭保、鶴岡義明、林久雄、染谷文夫、北 賢治、小塚彦明、  
中嶋清介

千葉県会のホームページ再開に当たっての旧内容及び仕様の確認と修正について

## 第 6 回役員会

平成 17 年 9 月 3 日(土) 12:30 ~ 14:00

場 所 船橋市中央公民館

参加者 原 弘行、若月英司、佐藤昭保、鶴岡義明、林 久雄、小塚彦明、中嶋清介、西村 豊、藤江隆平  
オブザーバー 吉谷会員、北 会員

役員会に先立ち吉谷健二会員から「福祉サービス第三者評価機関」に関し、法人化について、  
3 案のメリット・デメリットについての説明があり、次回に 1 案に絞り込むこととした。

議事： 1 報告事項

CSR の研修に関する調査に協力依頼が本部からあった。(マネジメント 8 月号参照)

経営者協会主催 8 月 30 日開催の第 92 回経協フォーラムに原会長参加。

2 審議事項

HP 最終決定

北会員から説明があった。

北関東フォーラムについて

## 第 7 回役員会

平成 17 年 10 月 8 日(土) 12:30 ~ 14:00

場 所 船橋市中央公民館

参加者 原 弘行、若月英司、河井成夫、佐藤昭保、鶴岡義明、林 久雄、西村 豊、小塚彦明、小島和久、  
中嶋清介 オブザーバー 北 会員

1. 会長報告事項

1) 第 1 回北関東支部委員会報告

2) ジェイックキャリアサポートからの講師派遣依頼について

3) 千葉県経営者協会からの講師派遣依頼について

2. 審議事項

1) 北関東フォーラムについて

2) 千葉県会ホームページ運用状況について

## 月例研修会 4 月度月例研修会

平成 17 年 4 月 23 日 (土) 14:00 ~ 16:30

場 所 船橋市中央公民館

テーマ：発想と製品開発の進め方

講 師：林 久雄 会員

参加者：河井成夫、佐藤昭保、西村豊、前島英太郎、若月英司

### 1．物造りについて

何がほしいのか、何をどうしたいのか、何をどう変えたいのか、目的、テーマはひとつでも発想の仕方により出来上がってくるものが違う。企業はこのわずかな違いに社運をかける。

### 2．アイデアづくり

よりよい物を求める中で考え出されるものだが、失敗や事故等の再発防止対策として出される場合あり

### 3．発想法及びトレーニング

・連想を刺激 ・情報の組み合わせ ・他分野の仕組み、成功事例からヒント ・発想、枠組みの転換

### 4．企業における物造り / 製品開発

新製品は企業存続の生命線となるものであり、継続して生み出されていかなければならない。  
市場性、人材、コスト、リスクの四つのポイントをクリア出来たものが開発課題となる。

### 5．頭の体操

四コマ漫画作者の表現力、創造性を理解。四コマ目の台詞を考えてみる。

## 6 月度月例研修会

平成 17 年 6 月 26 日 (日) 14:00 ~ 16:30

場 所 船橋市中央公民館

テーマ：物造り、奇跡の再生（ゴーン改革の危機から甦った下請企業）

講 師：中村 敏明 会員

参加者：河井成夫、北 賢治、小塚彦明、佐藤昭保、鶴岡義明、中嶋清介、西村 豊、若月英司

### 1．自動車業界の概要

日米欧の生産台数と中国との比較。 今後は中国の展開が鍵に。

### 2．ゴーン社長の改革に学ぶ

1 年前倒して NRP(日産リバイバルプラン)完了。日産 1 8 0 へ。

誰にも勝るリーダーシップ。

コミュニケーション上手。下請け企業は年 3 回（方針説明会、系列協力会、賀詞交換会）は呼ばれる。

意識改革。10 万人の従業員の意識を変えた。

### 3．ある部品企業の改革

### 4．同期生産システムの導入と展開

デイリーの確定受注情報に基づく生産

## 7月度月例研修会

平成17年7月23日(土) 14:00~16:30

場 所 船橋市中央公民館

テーマ：企業再生と関連法規

講 師：伊藤 博 会員(弁護士法人フェニックス)

参加者：新井将平、石塚康生、石渡善紹、宇賀田登茂夫、大塚為五郎、金子昌夫、河井成夫、川本比呂史、北 賢治、小塚彦明、佐藤昭保、佐藤光生、染谷文夫、鶴岡義明、中島清介、原弘行、林 堯夫、林久雄、松永清美

1. 倒産関連法規 ・法的処理と任意整理 ・清算型と再建型
2. 法務再生に従事する人々 ・法務再生とコンサルティング ・財務諸表の見方 ・鉾脈を探る
3. 再生、新生できる企業人は 「赤誠」「やる気」「神仏を尊ぶ」「技術」「素直さ」
4. 再生する人々とされる人々 ・再生可否の判断 ・救世主は1度だけ ・誰でも出来るが出来ない
5. 意識の壁 企業人(経営層・従業員・債権者等)は何をもってやってくるのか - 非風非幡
6. 堂々たる人生 「雨、梨花を打てば胡蝶飛ぶ」
7. 法令改正ここ10数年の動向
8. 日本人の嘆き (池波正太郎 男のリズム)
9. サイバー社会と現実社会の相剋 ex. デジタル万引き
10. 電子広告 改正商法(平成16年度) ・新会社法(939条・941条)
11. アメリカ法(キリスト教が背景に)が日本社会に及ぼす影響
12. 中小企業基本法の改正、金融機能強化のための特別措置に関する法律、金融検査マニュアル
13. 具体的事例 5例
14. 今後の動向(グローバル化とは何か) 日米の差(契約・公益速報者保護法・個人情報保護法)
15. 食品衛生法における一例
16. 形式的真実と実体的真実
17. 何を糧にするか 日本古来の伝統を思い起こせ

## 9 月度月例研修会

平成 17 年 9 月 3 日(土) 14:00 ~ 16:30

場 所 船橋市中央公民館

テーマ 「退職金制度の現状と問題点」

講 師：大塚 亜喜雄 会員 (大塚経営労務事務所)

参加者 石渡善紹、宇賀田登茂夫、小塚彦明、佐藤昭保、高砂 巖、鶴岡義明、西村 豊、原 弘行、  
林 久雄、吉谷健二、若月英司

### 1. 退職金問題の現状

退職金には、賃金後払い説 生活保障説 功労報奨説 手切れ金、独立資金説 がある。

国際会計基準導入、税制適格退職年金の廃止、税法改正による引当金損金不算入等により改革が必要。

中小企業では 90% が退職金制度を持ち、その内 60% が適格退職年金制度を持つが、問題意識の欠如

### 2. 税制適格退職年金

S 37 年の税制改正により中小企業の退職金制度して普及してきた。導入に当たっては会社の定める

退職金規定に基づいた年金保険契約、年金信託契約が税制の適格要件を満たしていれば掛け金を損金

算入することが出来た。しかし、H 14 年 4 月以降それが出来なくなるとともに、それ以前に締結さ

れた契約は H 24 年 3 月末をもって、非適格年金となる。

### 3. 新しい退職金制度への移行

中小企業退職金共済制度 (中退共制度)

中小企業事業主が掛け金を全額負担、退職した従業員に共済組合が直接支給。

確定拠出年金制度 (企業型)

適格退職年金制度からの移行先は企業型年金。給付は老齢給付、障害給付、死亡一時金がある

が、積立不足があると全額移行出来ない。60 歳にならないと給付が受けられない、事務手数料

料が高額等のデメリットもある。

### 4. 不利益変更(移行または廃止の際に、いかに従業員に納得して貰えるか)

既得権と期待権の考え方の説明

労働条件の不利益変更の方法

個別同意による方法

労働協約締結による方法

就業規則の不利益変更による方法

~ 判例による事例紹介あり

## 10 月度月例研修会

平成 17 年 10 月 8 日(土) 14:00 ~ 16:30

場 所 船橋市中央公民館

テーマ 「操体法で病を治す」

講 師 佐藤 暎州(昭保)会員(すこやか療術院・院長)

参加者 宇賀田登茂夫、河井成夫、北 賢治、小塚彦明、佐藤光生、鶴岡義明、中嶋清介、西村 豊、  
原 弘行、林 久雄、若月英司

### 1．健康とは

私たち人間の生命が健康に維持されていくためには四つの基本的な要素がある。

その要素とは、息(呼吸)・食(飲食)・動(身体活動)・想(精神活動)である。

操体法ではこの四つのバランスがはかられて環境に順応できる状態を健康という。

### 2．健康と疾病の可塑性

四つのバランスが崩れると不健康となり、放っておくと疾病体となるが、このバランスの回復をはかり環境に順応しだすと健康体に向かって戻り始め、やがて健康体そのものになる。

### 3．「動」について

体の歪は脊柱に集中する。この脊柱の歪がいろいろな病気の原因となる。

人間の体は元(正体)に戻るようになっている。そのためには体を気持ちよい方向へ動かすこと。

### 4．操体法入門

(1) 朝は、ガバッと起きずに操体 3 分(万病予防の朝の起き方)

(2) 首スジのコリをとる(わずか 30 秒で瞬間解消)

(3) 腰痛を治すには(医者にかかる前におためしを)

(4) 肩コリ、五十肩を治す(下半身の歪から治していく)

(5) 食欲不振の解消法(朝食前の 5 分で出来る)

(6) 高血圧、低血圧を治す(薬での上げ下げは時に危険)

(7) おやすみ前に腹式呼吸(昼間たまった歪を取る)

・ゆっくりと、快感覚を味わって

・一人よりも二人でやると家族のスキンシップに

・どこまでも"ゆっくり"と"しなやか"に

## 11 月度月例研修会

平成 17 年 11 月 5 日(土) 14:00 ~ 16:30

場 所 船橋市海神公民館

テーマ 「リーダーシップ・コーチングスキル」

講 師 榎本 均 会員

参加者 石塚康生、大河内國二、金子昌夫、河井成夫、小島和久、北賢治、佐藤昭保、鶴岡義明、  
中嶋清介、西村 豊、藤江隆平、横山貞夫、吉谷健二、若月英司

「チームを成功に導き、メンバーの成長を促す」

### 1. ビジネスコーチングとは

- (1) 良い「コーチ」の条件
- (2) 「コーチング」とは何か
- (3) 「ビジネスコーチング」とは

### 2. ビジネスコーチングの全体像と概要

- (1) 誰が誰におこなうのか
- (2) どこで行われるのか
- (3) いつ行われるのか
- (4) どのように仕事を指導するのか
- (5) 何をゴールとするのか

### 3. メンバーに対する動機付け

- (1) 鬼コーチでも成果は出る??
- (2) 一度出来上がってしまった「自己概念」はなかなか戻らない
- (3) 外発的動機づけと内発的動機づけ

### 4. メンバーの主体性を引き出す三つのスキル

- (1) 傾聴・・・メンバーに「嫌われない」ためのコミュニケーション・スキル
- (2) 状況説明・・・「納得して」行動をおこしてもらう時のコミュニケーション・スキル
- (3) 質問・発問・・・教える時に必要な「考えさせる」コミュニケーション・スキル

### 5. メンバーの個性に応じたコミュニケーション

指導スタイルと学習スタイルの自己診断

## M P P 研究会

平成 17 年 7 月 2 日(日) 13:30 ~ 16:30

場 所 船橋中央公民館

講 師 佐藤昭保

出席者 佐藤昭保、中嶋清介、鶴岡義明、林 久雄

テーマ 「既存業界にチャレンジする経営戦略」

### 1 . 経過

- ・ 参加会員が 6 名の予定が 4 名となったが、役員会等において何時ものメンバーだったので自己紹介と近況紹介を省略し、直ちに研究討論に入った。
- ・ 次いで研修担当から 15 分程度でケーステーマの解説を行い、リーダーとライターを決めて討議に入った。
- ・ ケースの内容は、今までにはあまり見られなかったような大雑把なケースのためか、激論には至らず粛々と各設問に従い討議がなされた。

### 2 . 成果

- ・ この度のケースは、現代の食生活の根幹にかかわる話題として取り組んだことに意義があった。

### 3 . リーダー所見

- ・ 参加者が少人数なのと MPP 研究に慣れてきているせい、話し方も上手であり、意見の食い違いも見られなかった。
- ・ 研究時間も発表する必要もなかったせいか定刻通りに終了することが出来た。

## ISO コンサルティング研究会

### 4月

平成 17 年 4 月 17 日(日) 13:30 ~ 16:30

場 所 船橋市中央公民館

テーマ 「ISO14001 認証取得支援実施例の発表」

講 師 川崎秀雄会員、岩野邦久会員、若月英司会員

参加者 宇賀田登茂男、川崎秀雄、河井成夫、佐藤昭保、中村敏明、岩野邦久、林 久雄、  
大久保 篤、吉谷健二、金子昌夫、小塚彦明、若月英司

### 6月

平成 17 年 6 月 19 日(日) 13:30 ~ 16:30

場 所 船橋市中央公民館

テーマ 「ISO を活用した中小企業の経営改善」

講 師 近江堅一 会員

参加者 川崎秀雄、河井成夫、大久保篤、眞武清志、松木幹雄、岩野邦久、金子昌夫、中村敏明、  
石塚康生、松永清美、林 久雄、吉谷健二、鈴木国昭、榎田國男、若月英司

1. ISO を活用した中小企業の経営改善コンサルティングについて
2. ISO13485 に基づくシステム構築について

### 9月

平成 17 年 9 月 18 日(日) 13:30 ~ 16:30

場 所 船橋市海神公民館

テーマ 「ISO を活用した中小企業の経営改善」

講 師 近江堅一 会員

参加者 川崎秀雄、宇賀田登茂男、河井成夫、大久保篤、中村敏明、林 久雄、榎田國男、  
北 賢治、荒川幸式、若月英司

1. ISO9001 / ISO13485 / 構成労働省令第 169 号の対比説明  
ISO9001 / ISO13485 のプロセス対比、QMS、経営者の責任について
2. 今までの研究会活動を仕事に結びつけるために  
講師説明とフリーディスカッション

## プロコン実践研修塾

### 第1回

平成17年1月15日(土) 14:00~16:30

場 所 船橋市中央公民

テーマ 「プロコンサルタントとしての時代認識強化と求められる対応能力」

講 師 川名正晃 会員

参加者 鶴岡義明、金子昌夫、小藤 純、千葉道生、大塚亜喜雄、林 堯夫、平岡 武、河井成夫、染谷文夫、小島和久、吉谷健二、川本比呂史、西村 豊

プロコンサルタントとしての時代認識強化と求められる対応能力

1. どう時代への感性を高めて、的確な価値判断を与えられるか

(1) 情報判断力 (2) 未来洞察力 (3) 情報収集力 (4) 変化対応力 (5) 価値判断力

2. 成果主義に徹した実践コンサルタントに求められる基本能力向上策

(1) ロジカルシンキング (2) コミュニケーションの欲求度が高いこと (3) 問題意識、問題発見能力が高いこと (4) 情念が高く、明るい人 (5) 三現主義(現品・現場・現状)に立って成果直結の率先行動性 (6) コンサルタントに望ましい性格 (7) 外部に与える印象=必要な属性

3. プロコンサルタントとしての研鑽の高め方

(1) 研鑽への前提認識 (2) 研鑽への基本的なあり方 (3) プロコンサルタントは成長の糧として眞のプレーンをもっているか (4) 絶えず自己啓発や自己管理を行う

### 第2回

平成17年2月12日(土) 14:00~16:30

場 所 船橋市中央公民

テーマ 「企業成長へのチャンス要因をどう捉え掘り起こすか」

参加者 鶴岡義明、金子昌夫、小藤 純、大塚亜喜雄、林 堯夫、平岡 武、河井成夫、染谷文夫、吉谷健二、川本比呂史、西村豊、藤田佳恵

企業成長へのチャンス要因をどう捉え掘り起こすか

1. 21世紀時代への「強い企業」作りへの経営構造の仕組みづくり

経営理念、中長期ビジョン、儲かる仕組み、変革方針、これらに経営目標を加えたものが「強い企業」を作る為に必要な要素である。

2. 企業独自の存在価値「優位性」構築への推進ステップづくり

企業存在原点確認 競争障害の確認 眞の優位性への条件 優位性への再構築への課題と手順  
継続的優位性「確保能力」の定着化 優位性、最終的評価基準 戦略的イノベーションの確立  
コア・コンピタンスを持つ機能発揮の重点化(核となる企業独自の価値)

3. マトリックス分析による最適化へのコア・コンピタンス創出づくり

優位性強化確立への経営資源配分計画として、自社の企業活動内容を分析し、再構築する中から新しい成長力の芽を発見し、それへの組織的対応策を経営計画の中に確立していく。成長事業機会の中に自社の経営資源を位置づけてみるなど、今後の戦略展開の方向を明確にしていく。

## 第3回

平成17年3月12日(土) 14:00~16:30

場 所 船橋市中央公民

テーマ 「明確な経営理念構築が時を越えて成長に向かう条件」

参加者 鶴岡義明、小藤純、林堯夫、平岡武、河井成夫、染谷文夫、川本比呂史、西村 豊

1. 経営理念の確立とは、独自の存在価値追求への挑戦作りの第一歩  
内外の環境変化、業績悪化、トップ交代等による経営の変革を通じ、全社員が主体性を持った自己革新意識から未来志向で適応できる組織風土や体制が必要である。
2. 経営理念の構成と明確な成文化作り(経営理念検討シート)
  - (1) 会社創設の考え方は何であったか
  - (2) 主力商品が顧客に提供している真の価値は何か
  - (3) 顧客に対する考え方はどうか
  - (4) 地域社会に対する貢献度はどうか
  - (5) 自社が持つ機能とは何か
3. 経営理念・方針の浸透管理の進め方
  - (1) 企業運営に関する価値基準の明確化
  - (2) 方針、計画遂行への管理体制作り
  - (3) 経営理念具現化への組織活性化
  - (4) 経営理念具現化に向けたコミュニケーションの徹底化

## 第4回

平成17年4月9日(土) 14:00~16:30

場 所 船橋市中央公民

テーマ 「燃え且つ闘う集団化への職場活性化展開の進め方」

参加者 鶴岡義明、金子昌夫、大塚亜喜雄、林堯夫、藤田佳恵、平岡武、河井成夫、川本比呂史、西村 豊

1. 活気呼び込む経営風土づくり = 3つの強化要素  
価値観・・・経営理念、社是・社訓が従業員に信じこまれているか  
考え方・・・仕事への取り込みに対する価値判断基準およびその方法  
行動パターン・・・従業員や企業がとり行動の枠組みや具体的行動の仕方、価値観
2. 職場活性化への経営者・管理者のリーダーシップ発揮の進め方  
異質性、多様性(均質と均一は停滞や渋滞の根源)への対応認識 企業のライフサイクルの短命化時代という認識 企業集団ライフサイクル認識 「人は変化を避けたがる」という本質への認識  
「変化をなぜ避けるか」の本質への認識 集団も変化もいやがるという本質への認識  
「集団の衰弱化の原因」は何かへの認識 「変革」と「創造」への挑戦への認識  
組織の活性化への認識  
組織へ新たに加入した個人をどう有為な組織人にせしめる為の対応認識
3. チーム結束強化への対応策  
戦う社風・燃える集団になっているか 職場活性化の為のリーダーシップを発揮しているか  
チームの結束を高めるための手を打っているか 社員の欲求と行動を掴んでいるか  
・5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)チェックシート ・5S改善への着眼点  
・管理者集団思考による討議マトリックスシート  
士気調査(モラル・サーベイ) ・調査票

## 第5回

平成17年5月28日(土) 14:00~16:30

場 所 船橋市中央公民

テーマ 「プロコンサルタントに期待される実践研修への取り組み方」

参加者 大塚亜喜雄、金子昌夫、河井成夫、川本比呂史、染谷文夫、鶴岡義明、西村 豊、林 堯夫、平岡 武

・人材開発への研修の狙い(2~3省略)

- 1.新時代に求められる企業研修の狙い
- 4.企業研修の体系図
- 5.研修ニーズをどう捉えるか
- 6.研修ニーズ問題分析手法
- 7.個別ニーズの把握法
- 8.ニーズに対応した研修には必ず期限が

・企業内研修へのカリキュラム作成及び実施スケジュール化と研修効率測定法

- 1.集合研修の進め方
- 2.階層別教育の現状と研修内容
- 3.管理者研修の取り組み方

・プロコンサルタントに期待される実践研修への取り組み方

- 1.成果の上がる研修ニーズの捉え方とカリキュラム作成とスケジュール化  
(1) 事前面接、事前アンケート (2) カリキュラム作成とスケジュール化
- 2.期待される研修講師としての取り組み方・運営のあり方  
(1) 研修講師としての取り組み方 (2) 研修当日のチェックポイント  
(3) 研修終了時のレポート提出 (4) 講師サイドにおける研修報酬料の決め方
- 3.レジュメの作り方・分かりやすい話し方の工夫

発生訓練(アエイウエオアオ カ・・・)

よいオアシス

質疑応答

## 第6回

平成17年6月11日(土) 14:00~16:30

場 所 船橋市中央公民

テーマ 「信頼が高まるコンサルタント活動展開への実践策」

参加者 大塚亜喜雄、河井成夫、川本比呂史、染谷文夫、鶴岡義明、西村 豊、林 堯夫、平岡 武

1.経営コンサルタントとして指導企業への基本的取り組み方

常に答えを与えるのではなく様々な角度から刺激を与え、問題点を探り出す中で答えを見つける。

2.コンサルティングを引き受ける条件

クライアントのニーズ、環境があり、独立性を保ちながら十分に議論する時間をとることが必要。

3.継続定着化

セミナー、教育、診断、調査報告の終了後、リピートオーダーを必ずつかむことが、定着化につながる。

4.依頼企業から信頼が無くなる要因

基本姿勢(言動不一致、約束不履行、誠意、誠実)不足。知識、訓練、指導力など能力不足の場合。

5.ファーム参加への留意点

チームワーク、綿密な調査、的確な勧告、積極的な行動、結果のまとめ。

6.契約書方法

契約書等の雛形紹介

7.染谷会員(ワイ・ジー・ケイ・サポート代表)からの実践事例紹介

8.修了書の授与式

9.質疑応答

6回にわたりコスト度外視で取り組んでいただいた川名正晃先生に感謝いたします。

## 第 50 回定時総会

日 時 平成 17 年 5 月 21 日 (土)

総 会 : 14 : 00 ~ 15 : 00

講演会 : 15 : 10 ~ 16 : 40

懇親会 : 16 : 50 ~ 18 : 50 (参加費 5,000 円)

場 所 プラザ菜の花

## 2005 年北関東フォーラム

期 間 : 平成 17 年 10 月 29 日 (土) から 30 日 (日)

会 場 : 成田菊水ホテル

詳細は、2005 年北関東フォーラム終了のご報告をご覧ください。

## 研修、研究会実施のお知らせ

### 月例研修会のご案内

#### 1 月度

日 時 平成 18 年 1 月 28 日(土) 14:00 ~ 16:30

場 所 船橋市中央公民館

テーマ 「コンサルテーションの今後について」

講 師 大河内 国治 会員

「経営士」の今後のあり方という視点で講演をいただきます。後半はフリートーキングにより皆様からのご意見、ご要望にお答えしたいと思います。

#### 2 月度

日 時 平成 18 年 2 月 12 日(日) 14:00 ~ 16:30

場 所 船橋市中央公民館

テーマ 未定

講 師 未定

#### 3 月度

日 時 平成 18 年 3 月 11 日(土) 14:00 ~ 16:30

場 所 船橋市中央公民館

テーマ 未定

講 師 未定

「平成18年度・19年度 千葉県会 役員改選の件について

千葉県会長 原 弘行

来年度は千葉県会 役員改選の年です。

会員各位への役員選挙に関するご案内は、追って、選挙管理委員会  
より会報又は書状にてお知らせ致します。」

## 懇親会のご案内

### 懇親会開催のお知らせ

今年最後の懇親会です。今年一年を振り返り楽しく語り合いましょう。みなさんの参加をお待ちしております。

日時：平成 17 年 12 月 17 日(土) 17:00 より

場所：千葉駅前 魚民 043-221-4188

会費：4,000 円



申込先：別途案内はお送りしません。12月14日までに、若月英司 会員 Tel：043-247-5078 Fax：043-247-5082 まで下記の申込書でお申し込みください。多数のご参加をお待ちしております。

### 月例研修会 / 懇親会(12月)出席連絡

(社)日本経営士会 千葉県会  
総務担当 若月英司 宛

Tel：043-247-5078

会員氏名 \_\_\_\_\_

Fax：043-247-5082 出席ご希望の方は12月10日までにご連絡願います。

出席を次の通り連絡します。(該当欄に出席は○印、欠席は×印をご記入下さい。)

	月例研修会	懇親会
12月17日 出席		